

# 令和元年度 授業改善推進プラン 学年メモ

2年

	児童の実態	学習指導の課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	具体目標	3月 成果と課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字の学習には、すすんで練習に取り組んでいるが、文字を正確に書くことができない児童が多い。</li> <li>○語彙力が乏しく、文章を書くことが苦手の児童が多い。</li> <li>○相手の意図をつかみながら最後まで聞く力が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時間、言語に関わる指導を計画的に設定する必要がある。</li> <li>○語彙を増やすための時間を確保する必要がある。</li> <li>○話し手の方を向いて、最後まで話を聞き、伝えたいことを聞き取る時間を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○はね、とめ、はらいなどを意識して、字形を整えて書く練習をする。漢字やカタカナの学習では、毎日の学習の中で、家庭と連携を取りながら、繰り返し練習をして、確実に身に付くようにする。</li> <li>○読書の時間を確保し、様々な言葉に親しむようにする。また、文章の暗唱をしたり、漢字指導の中で熟語を使った短文づくりをしたりして語彙を豊かにする。</li> <li>○伝え合うことの楽しさや必要性を感じられるように、スピーチや発表の機会を多く取り入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○繰り返し習熟テストを行い、細かな形まで意識させて取り組めるようにする。漢字テストは、百点を合格点として、再テストを繰り返し、確実に書けるようにしていく。</li> <li>○表現の仕方、順序を意識した文章の書き方を指導するとともに、視写、作文、日記などを取り入れる。</li> <li>○ペアやグループなど、話し合いの形態を工夫していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文字を細かいところまで気を付けて書くことができる。</li> <li>○自分の考えを整理して、順序よく書くことができる。</li> <li>○話し手のほうを向いて、相手の意図を考えながら、最後まで聞くことができる。</li> </ul>	
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○加法及び減法の繰り上がり、繰り下がりについては、ほとんどの児童が理解しているが、計算にかかる時間については、差が大きい。</li> <li>○文章題の題意を捉えて、立式することが難しい児童がいる。</li> <li>○長さや大きな数、水のかさにおいて、十進位取り記数法や単位換算の理解が十分でない児童がいる。</li> <li>○文章題のポイントに気付かなかつたり、題意を理解できない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計算問題に取り組む時間を増やす必要がある。</li> <li>○日常的に長さや大きな数、水のかさに触れる機会を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指導単元にかかわらず、計算問題を解く機会を多く設定する。</li> <li>○文章題では、ポイントとなる言葉や数に下線を引いたり、問題の場面を絵や図などで表したりして、解くことを習慣付ける。</li> <li>○位取り表を活用したり、単位換算の習熟を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○宿題や補充プリントで習熟を図る。</li> <li>○半具体物を用いた操作活動の時間を多く取り入れ理解を深めていく。</li> <li>○児童の日常生活に結び付けて考えられるような工夫をし、日常生活の中で意識できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○加法、減法の計算を正確に計算することができる。</li> <li>○文意を正確に捉え、演算を決定することができる。</li> <li>○十進位取り記数法による数の表し方及び大小や順序がわかる。</li> </ul>	
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校内での活動が多く、地域の人との関わりをもつことが少ない。</li> <li>○気付いたことや知らせたいことの表現方法が少ない。</li> <li>○生き物が好きな児童が多いが、自然に関する様々な体験活動をしていない児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活の中で、地域とのつながりを意識させるような指導をする必要がある。</li> <li>○発表やまとめの仕方について、さまざまな方法があることを知らせる必要がある。</li> <li>○年間を通して、生き物に触れる時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「町探検」を通して友達との関わりを深めるとともに、地域の人との関わりをもつようにする。</li> <li>○学習のまとめには、新聞・ペーパーサート・紙芝居・クイズ等、様々な方法を例示して選べるようにする。</li> <li>○虫探しや野菜を育てることを通して、自然に親しませる。</li> <li>○基本的な運動を継続的に反復しながら取り組む時間を設ける。また、運動ごとにポイントを明確にして指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学区内のお店の人や、近隣の幼稚園・保育園の子どもたちと関わる活動を取り入れる。</li> <li>○体験の前後に意見交流を行い、考えを発表しやすくする。</li> <li>○体験活動を充実させるとともに、活動を通して得た気づきを基に考える時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域探検を通して、地域の人への願いや仕事を知り、地域の人と関わる楽しさに気付くことができる。</li> <li>○体験の前後に意見交流を行うことができる。</li> <li>○全員が生き物に関心をもち、すすんでそれらと関わろうとすることができる。</li> </ul>	
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体を動かすことが好きな児童が多く、休み時間は鬼ごっこや遊具などで遊んでいるが、基本的な運動に個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○年間を通して、基本的な運動を行う時間を確保する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な運動を継続的に反復しながら取り組む時間を設ける。また、運動ごとにポイントを明確にして指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペアやグループなどで見合いアドバイスするなど、関わり合いの場面を意図的に設定していく。また、ゲームなどを取り入れ、楽しみながら取り組めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どの児童も体を動かすことが楽しめるようにする。</li> <li>○基本的な技術を身に付け慣れ親しむとともに、達成感をたくさん味わえるようにする。</li> </ul>	